



平成17年8月23日瀬戸会場 市民プロジェクト事務局

「中国の子どもたちの小さな夢」

2005年8月23日（火） 市民パビリオン・対話劇場

本活動の主旨：アジアにおいて高度経済成長を続ける中国でも、注目されていない農村部の子どもたちの生活に焦点をあてたドキュメンタリーを制作し、博覧会の会場で上映します。万博の場を借りて日本人をはじめ世界の人々に夢を追いかける農村部の小学生の姿を見てもらい、理解を深めてもらうことを目指しています。また、中国の状況を紹介するだけでなく、北京の農村部の小学生と日本の小学生との「夢」の交流を行い、友好関係を築き上げます。

活動の紹介：グループ「南山瀬戸ネットワーク」は2003年の11月に南山大学瀬戸キャンパスで設立され、現在中国人留学生8人を含む13人のメンバーがいます。「せっかくの機会だから、万博の会場で中国の子どもたちの学校生活の現状を伝えたい」と考え、万博の市民プロジェクトに参加することを決めました。「中国の子どもたちの小さな夢」をプロジェクト名として、2004年の4月から本格的な活動が始まりました。

日中子どもの交流の第一歩として、2004年の7月に瀬戸市長根小学校の6年生の子どもたちに「将来の夢」、中国の「イメージ」、中国の子どもへ「メッセージ」という3つのテーマで絵を描いてもらいました。そして、同年9月に北京密雲県瞳里聯合小学校の6年生にも同じように3つのテーマを絵で表現してもらい、あわせて彼らの学校生活も撮影しました。その後、2004年12月～2005年2月にかけて、春日井市高蔵小学校、名古屋市師勝北小学校でも活動を行いました。その時の様子もビデオに収録しました。それをまた中国の子どもたちにフィードバックします。

当日スケジュール

第一部：「夢」の交流

- ◇ 中国の留学生によるパフォーマンス
- ◇ プロジェクトの解説
- ◇ ドキュメンタリー『同じ青空の下で』の上映
- ◇ 小学校の生徒代表によるスピーチ
- ◇ 日中子どもたちのコミュニケーション（インターネットによる）
- ◇ ワークショップ「海上から上海へ」
 - クイズ大会
- ◇ 中国の子どものゲームの紹介

開催時間：

10:00～、11:00～、15:00～

第二部：パネルディスカッション（60分間）

テーマ：「国際理解教育」

ゲスト：イ・アロハン

中山博夫

松戸武彦

開催時間：13:30～14:30

中国の留学生によるパフォーマンス

「希望」ダンス

ダンサー：張 萍
所属：南山大学総合政策学部2年
出身：中国青海省



羊飼いの小娘が青空の下で、「夢」を描きながら、楽しくダンスする場面。彼女は夢が必ず叶えるものだ信じて、明るい将来に向かって頑張っている。

ドキュメンタリー『同じ青空の下で』

2004年の統計によると、日本と中国では14歳以下の子どもの数は、それぞれ1773万人と2億8730万人です。両国の子どもたちは、同じ青空の下で、将来の夢に向かって元気に成長し、精一杯頑張っています。今回、万博を機に、私たちは瀬戸市長根小学校を始め、日本の小学生と中国北京の農村部の小学生との交流を図りました。「絵」の交換という一つの交流手段を通して、お互いに交流を深めていきたいと考えています。「イメージ」、「メッセージ」、「将来の夢」といったテーマについて合わせて800枚の絵を集めました。

様々な夢を抱えている両国の子どもたち取材し、その時の映像を「同じ青空の下で」と名付けたドキュメンタリーにまとめました。



日中子どもたちのインターネットによるコミュニケーション

ワークショップ クイズ大会

中国の子どものゲームの紹介

- チェンツー
- 編花ラン
- ゴム跳び

テーマ：国際理解教育

開催時間：2005年8月23日（火曜日） 13:30～14:30

開催場所：愛・地球博 瀬戸会場・市民パビリオン（対話劇場）



中山 博夫

1957年名古屋市生まれ、岡山大学大学院教育学研究科を修了後、名古屋市の小学校の教諭に採用され、国際理解教育の実践研究を進める。名古屋市立鳥羽見小学校に勤務のかたわら、名古屋大学大学院国際開発研究科の非常勤講師を勤めていた。2005年4月からは、東京都新宿区にある目白大学経営学部にも所属し、教職課程教育を担当している。



松戸 武彦

1952年8月東京生れ、東京都立竹早高等学校卒（山下達郎がクラスメート）、大阪大学人間科学部社会学専修卒、同人間科学研究科社会学専攻後期課程単位取得満期退学、奈良大学社会学部を経て2002年より南山大学総合政策学部にも奉職、現在総合政策学科長を務めている。



イ・アロハン

1963年中国内モンゴル自治区生まれ、1985年北京中央民族大学民族言語、文学部卒業、専門モンゴル語族言語、文学。1988年同大学院卒。専門、蒙漢古典文学の比較研究。1982年から詩、エッセイ、論文をモンゴル語、中国語で雑誌、ラジオなどに発表。1988年～1993年までの5年間、内モンゴル映画撮影所で脚本家として勤め、脚本、詩、エッセイ、映画評論、映画翻訳などを多数発表。1992年優秀映画評論賞受賞。1993年来日、東京大学大学院で文化人類学を学び、後に、早稲田大学大学院で演劇、映画を専攻した。現在はTVプロダクション 株式会社テムジンに所属している。